

会報・案内

平成14年度第6回将来計画委員会議事録

日時：平成15年1月25日(土) 12:00 ~ 13:30
 場所：東京ガーデンパレス 3F 橋
 出席：中村仁信(委員長・担当理事)
 早淵尚文(副委員長・担当理事), 油野民雄
 角藤芳久, 高橋元一郎, 大川元臣, 竹田 寛
 本田憲業, 清 哲朗, 岡崎正敏, 菅 一能 各委員
 欠席：蒲田敏文, 石口恒男, 佐藤守男, 廣田省三
 江原 茂, 芦澤和人, 桑原康雄, 大淵真男
 阪口 浩 各委員

議 事：

1. 各種委員会について

今後の各種委員会の改正案について早淵副委員長より説明がなされた。今回の案は概ね前回案と同様であるが、任期については下記の通りとなった。

【変更点のみ】

任期は全ての委員会で4年として、委員は二分の一ずつ交代とするが、原則として委員長と理事長の判断で他に適当な委員がないなどの場合は継続可能とする。また、委員会に出席しなかったり、委員会の活動に積極的でない委員は委員長と理事長の判断で2年で交代させることができる。

2. 日医放選挙制度について

代議員の選出方法(特に立候補資格)について中村委員長より説明がなされた。立候補資格は前回案とほとんど同じで、「将来は学会誌を必須とする」という一文のみは削除された。

なお、選挙制度について様々な意見が出されたが、下記の諸点で合意が得られた。

(1) この立候補資格に基づいて全国より立候補を受け付け、会員の投票によって代議員を選出する。

(2) 選挙は地方ごとではなく全国区で行う。

(3) 立候補者名簿を作成し、立候補者の簡単な抱負を載せて日医放のメールマガジン上に公開する。

(4) 投票有資格者1人当りの投票数は5-10票とし、その詳細については理事会で決定する。

(5) 立候補で代議員定数に満たない場合は、残りの代議員は理事会推薦で決定する。

以上について本委員会では了承された。

第65回電子情報委員会議事録

日時：2003年2月2日(日) 10:00 ~ 13:00
 場所：JIRA会議室304
 出席：石垣武男(委員長), 稲邑清也(副委員長)
 安藤 裕(副委員長), 江本 豊, 越智 誠
 尾辻秀章, 紀ノ定保臣, 櫛橋民生, 黒田知純
 佐々木康夫, 島本佳寿広, 森 宣
 倉西 誠(JSRT), 松井美楯(JSRT)
 欠席：煎本正博, 大山永昭, 佐古正雄, 澤田 敏
 木村通男, 滝沢正臣, 西谷 弘, 三宅秀敏
 宮坂和男, 小寺吉衛(JSRT)

資 料：

- (1) 前回議事録
- (2) 標準化対応小委員会 平成14年度中間報告 - その2 -
- (3) 画像診断報告書検討小委員会
- (4) 学会の電子化について
- (5) CyberRad 2003 準備状況の報告
- (6) CyberRadデモシナリオ案V0.4

議 題：

1. 前回議事録確認

訂正なく承認された。

2. 遠隔画像診断部会(西谷)

今回の遠隔画像診断部会は、5月10日に大阪国際会議場で行う予定。

当日、JRS理事会があるため、理事の方は出席できない。

本日、西谷委員が欠席のため、詳細を後日詰める。

3. 小委員会報告

(1) 画像診断報告書検討小委員会 佐々木・資料3

日立の井桁さんにおいてSRの試用版を作成する予定。

2月14日に稲邑委員が委員長をしているIS&C委員会WG14に佐々木先生が参加して、次回電子情報委員会でデモできるかどうか検討してもらう。

WG14から試用版を提供してもらう。この委員会で評価方法や評価施設を決める。

関連する項目として、以下の意見があった。

・電子情報委員会として、電子カルテとなったときにどのように扱うかを決めておく必要がある。

・レポートとカルテの記載は別物。

・電子署名をどのように行うかの問題もある。

(2) 標準化対応小委員会(稲邑・資料2)

以下の項目について、報告があった。

・ISO TC251 WG4

・IS&C WG14

共同で議論すべき項目について、SRについて項目を整理し

て、次回までに提案し、共同で議論を進めて行く予定。

フラットパネルディテクターの技術的な問題点の指摘があった。

(3) 液晶モニタ研究班(石垣)

研究班を11月に行い、50数名参加して頂いた。

経済産業省・厚生労働省から補助金が出る可能性がある。

3. CyberRad小委員会よりの報告(安藤・資料5,6)

プログラムの説明：テーマ展示は18社が参加して、IHE-Jのデモを行う。チュートリアルは、2種類あり、IHE関連のデモツアーとIHE入門、もう一つは14の演題である。

一般演題は、22題の応募があり、21題が採用された。今年は、登録費を払えば、誰でも発表できることとした。一般演題の発表は、4月12日9時-11時、13日9時-11時にある。

シナリオの説明：テーマ展示「E-Hospitalを目指して - パリアフリーな部門間画像情報の連携 - 」のデモツアーのシナリオについて説明があり、(1)スケジュールワークフロー(Scheduled Workflow)、(2)氏名不詳の場合(Patient Information Reconciliation)、(3)画像の一貫性表示(Consistent Presentation of Image)について説明があった。

4. 学会のIT対策

江本委員が資料4によりIT化委員会について説明した。

会員管理、会員名簿の作成と送付、専門医試験問題の管理、ホームページ・メーリングリストの管理を骨子として、検討している。電子情報委員会として、会員管理の電子化を進めるべきとの意見があった。

電子情報委員会として、IT化に対してどうすべきか、議論を詰める必要がある。

5. その他

今後の画像データベース構築を検討するために、専門医試験画像DBに造詣が深い、宇部短大 森山先生を委員として迎えることになった。

3. 実施場所

千葉県千葉市稲毛区穴川4丁目9番1号

独立法人 放射線医学総合研究所

4. 受講料

受講料は78,750円

申し込みは平成15年6月20日(金)まで。

5. 問い合わせ先

〒263-8555

千葉県千葉市稲毛区穴川4丁目9番1号

独立法人 放射線医学総合研究所 研修課

電話：043-206-3048

FAX：043-251-7819

e-mail: training@nirs.go.jp

学会・研究会等のお知らせ

独立法人 放射線医学総合研究所

第7回ライフサイエンス課程

- 安全なRI利用のために -

研修生募集要綱

1. 目的

本課程では、生物・医学・薬学・農学などの、ライフサイエンス分野の研究に必要な、放射線の基礎および放射性同位元素(RI)利用技術に関する講義・実習を行う中で、RIの安全取り扱いに必須の放射線防護の知識・技術を習得することを目的としています。

2. 募集人員および研修期間

(1) 募集人員 約16名

(2) 研修期間 自 平成15年7月28日(月)

至 平成15年8月8日(金)